

旅行中に出るCO₂

排出枠購入し相殺

近ツーが団体旅行販売

近畿日本ツーリストは初年度一万人の利用を目標とする。旅行中に出る二酸化炭素（CO₂）を、排出枠の購入で相殺する団体旅行を五月から販売する。排出したCO₂を自主的に補う「カーボンオフセット」と呼ばれる仕組みで、一人あたりの負担は五百円程度までにとどめる。

近年度一万人の利用を目指す。JTBも同種の商品販売しており、環境維持の費用を負担する旅行が定着しそうだ。近ツーはまず、修学旅行向けに販売する。行き帰りの交通機関と滞在した宿泊施設のエネルギー消費から、旅行で排出す

まず修学旅行、負担500円程度

るCO₂の量を算出する。遠隔地への旅行で排出枠購入費用が高額になる場合は排出するCO₂の一部の相殺にとどめる。京都議定書に基づき国連が認証した排出枠をリサイクルワン（東京・渋谷）を通じ購入する。途上国で風力や水力などの発電を増やし化石燃料の利用を減らすことで発生したCO₂排出枠を使う。